

ブラインドテニス

(全障スポ・オープン)

競技説明

屋内競技で選手はアイマスクを着用し競技に臨みます。コートサイズはバトミントンコートと同じ広さ。コートラインのテープ内に紐が通し突起を作り、その突起部分を手や足で触った感触で選手はコート内での自身の位置を把握します。使用するボールは直径9cm。ボール内に鈴が入っており、鈴の音を頼りに、障害の程度にあわせて、2バウンドもしくは3バウンドで相手コートにボールを返します。

地面をバウンドしてくるボールを打つ競技と違い、宙に浮くボールを返球するのは至難の業。ボールは高く打ち上げるほど音が聞こえにくくなるため、熟練者になればなるほど、ボールの音を打ち消すような返球の仕方をしたり、あえて、ボールの音を聞きやすくするよう、中腰でラリーをする選手もいます。

見えない状況下でどのように空間を把握する選手の聴覚の鋭さに、とても驚かされる競技です。

ルール

ルールは一般の硬式テニスに準じており、試合基準は6ゲームマッチです。4ポイント先に先取した方が1ゲーム獲得します。SAGA2024では、4ゲームマッチ5ショートタイブ레이크ポイントで勝敗が決まります。ネットの高さは80cm、ラケットは23インチ以下の物を使用します。

視力の程度によって、カテゴリーがB1～3までに分かれており、全盲のB1のクラスは3バウンド以内、弱視クラスのB2、3は2バウンド以内に返球します。